

2008年4月23日

各位

株式会社大京
執行役グループ広報部長 落合 英治

大京グループのマンション管理員業務を請け負う(株)大京ライフ

全管理員が「認知症サポーター養成講座」の受講を終了

大京グループのマンション等の管理員業務や清掃業務を請け負う株式会社大京ライフ(本社:東京都渋谷区、社長:相田 裕二)は、厚生労働省の「認知症サポーター100万人キャラバン」に賛同し、昨年4月より、同社の全管理員に対して「認知症サポーター養成講座」の研修を開催してきましたが、本年3月をもって全員(開始時の対象者約3,500人。一部パート等を除く)の受講が終了いたしましたので、お知らせいたします。

現在、日本は本格的な高齢化社会に突入し、特に高齢者の特徴的の疾病である認知症の方が急速に増加傾向にあり、85歳以上の高齢者のうち4名に1名が認知症という「脳」の老化に伴う病気にかかっているといわれております。

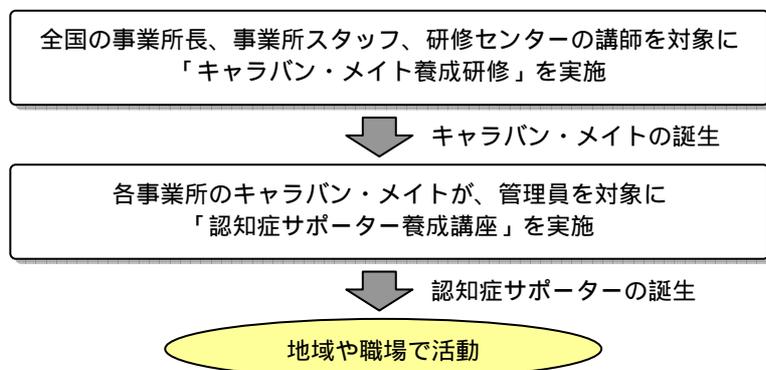
同社では、現在約33万戸の管理員業務を請け負っており、その居住者の方にも同様の傾向があると推測されることから、マンション管理の最前線で業務を行っている同社の全管理員に対し、特に認知症に対する正しい知識を習得させるために実施したものです。

受講した管理員からは「認知症は誰にでもなる可能性が高いことを知った。認知症に自分になったら心配です。自分自身の問題として考えて行きたい。」「今後重大な社会問題になると思います。他人事と思わずに皆がもう少し関心を持つべきであると感じました。」などの感想が上がっています。

1人でも多くの管理員が認知症を正しく理解し行動することが、高齢化社会に対する取り組みと位置付け、同社では今後も継続的に取り組んで行く予定です。

厚生労働省の「認知症サポーター100万人キャラバン」とは、認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを全国で100万人養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指しているものです。全国キャラバン・メイト連絡協議会では、都道府県、市区町村などの自治体や全国規模の企業・団体等と協働で認知症サポーター養成講座の講師役(キャラバン・メイト)を養成し、養成されたキャラバン・メイトは自治体事務局等と協働して「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

大京ライフにおける取り組み



「認知症サポーター養成講座」研修会風景

この件に関するお問い合わせ先

株式会社大京 グループ広報部広報室(奥山、関山) 03-3475-3802